



学校
だより

月にみがきて

令和5年3月16日
千曲市立更級小学校

<文責>

教頭：青木 猛

祝 卒業「感謝」「新たな道」

令和4年度 ありがとうございました

3学期終業式 校長先生のお話

雪は少なかったですが、今年も寒さの厳しい冬でした。それでも、先週末から今週にかけてとても暖かで春らしい日が続いています。春は確かな足取りで更級にもやってきています。今日のこの3学期終業式とともに令和4年度が終了となり、あとは明日の卒業式を残すのみとなりました。4月に入学した1年生もすっかり落ち着いてきて、時の流れって、とても速いと改めて感じています。

更級小学校は、たくさんの地域の方々が学校ボランティアとして学校に来てくださいます。安全パトロール隊や読み聞かせなど、1年を通じてお世話になっている方々もいます。今年は、3年ぶりに縄文まつりが行われましたが、実行委員会の反省会の時に、コロナで練習があまりできなかったけれど、自分の役割をちゃんとやり遂げていて、更級小の子どもたちは本当にすごいということを言っていました。

先日の6年生送る会に参加いただいた学校運営委員の方々からも、どの学年の発表も素晴らしく、とてもいい送る会だったとの感想をいただきました。

毎日、一緒に生活をしている先生方には気づかないことでも、時々学校を訪れる地域の方には、学校に来るたびに変わっていくみなさんの姿から、大きな成長を感じてくださっていることを教えていただいています。

そうやってふり返ってみると、今発表してくれた1年島谷茉愛さん、4年小松しおりさんだけでなく、いろいろな場面で全校の一人一人が光り輝き、確かな成長を遂げ、充実した実りの多い一年間でした。この一年間の皆さんの成長がすごく大きなものであったと改めて思い返し、その成長をすごく嬉しく思っています。

さて、世の中では、生活の中でマスクをつける判断が個人に任せられるようになりました。学校では、4月から新しい感染対策になる予定ですが、皆さんはどうしますか？

「知恵を集めて…」「想像力をはたらかせて…」コロナ禍のこの3年間で、皆さんに「知恵」や「想像力」という言葉を多く使ってきました。どちらも、自分できちんと考えないとできないことです。自分で考えたこと、自分で決めたことは、自分の責任でもあります。困った時には周りの人に相談するといいますが、最後は、自分のことは自分でできるようになっていくことを目指したいです。

毎日の勉強、学校での生活を通して、一年生は二年生になるために、二年生は三年生に、三年生は四年生に、四年生は五年生に、五年生は六年生になるために力をつけてきました。卒業する六年生は中学生になるための準備をしました。それぞれが、新たな挑戦の4月を迎えられるよう、この1年のよい締めくくりをしてください。

明日は卒業式です。卒業される6年生の晴れの門出を、みんなの笑顔と、あたたかい心でお祝いしたいと思います。

3学期終業式の様子



ご挨拶

保護者の皆様、地域の皆様より、本校の教育活動へ暖かいご支援、ご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。コロナから身を守ることからコロナを超えて日常を取り戻す生活へと世の中が変わり始め、3年ぶりに卒業式に地域の皆様をお招きすることができましたが、感染防止対策の完全解除とはいわずに、控室の用意もご挨拶もできませんでした。

新型コロナウイルスに翻弄された3年間でしたが、多くの知恵を集め、各ご家庭と地域のご理解をいただいて、子どもたちの教育活動、地域と共にある学校づくりを守り続けることができました。猛暑の夏も寒冷の冬も子どもたちの登下校を見守ってくださった安全パトロール隊の皆様には、子どもたちの安全と安心を支えていただきました。挨拶のご指導や困っている子の手助けをいただいていることも届いており、感謝の言葉が尽きません。おやじの会、朗読の会をはじめとしたコネット更級、クラブや授業での講師をお願いした学校ボランティアの皆様には、コロナ禍にも関わらず可能な限りの学校支援を継続していただきました。おかげさまで、キャリア教育につながる「本物に触れる」「一流に学ぶ」授業が実現できております。

また、PTAの事業として体育館用の大型扇風機や竹馬、一輪車をそろえていただくなどして、子どもたちの学びを最大限保障することができました。教室の広さから授業参観の機会を十分に設けられず大変に申し訳ない思いをしていますが、開催方法やプログラムを工夫しつつも運動会、音楽会を全校児童が一堂に会して実施できたことは、ご家庭、地域の皆様のご理解、ご協力のおかげです。今年度は、3年ぶりに縄文まつりへ参加することもでき、元気な子ども達の姿を見ていただくことができました。次年度は、多くの皆様に学校へ足を運んでいただき、本校の教育活動の様子や元気に学ぶ子どもたちの姿を見ていただく機会を確保していけるよう計画を進めてまいります。将来、子どもたちが社会に出ていく時に、更級で育ったことが強みとなり、更級で育った日々が原風景となり、その根が更級にあることが人生の豊かさとなるように、これからも地域の皆様の願いを受け止めて、日々の教育活動を一層充実させてまいりたいとの思いを強めます。

本来であれば、皆様にお会いできる機会にて直接お礼申し上げるべきですが、このような挨拶となり恐縮です。今は、新型コロナウイルスに係る現状の回復を祈りつつ、心晴れやかに4月よりの新年度を迎えられることを願っております。新年度におきましても、更級小学校の子どもたちへのご支援をよろしくお願い致します。

千曲市立更級小学校長 畑 秀幸

転任・退職される先生方

年度末の人事異動により、4名の先生とお別れすることになりました。保護者や地域の皆様には大変お世話になりました。

	名 前	異 動 先 など
校 長	畑 秀幸	退 職
1年1組	西脇 英樹	下伊那郡喬木村立喬木第一小学校
理科専科	宮下 芳和	退 職
図書館司書	瀧澤 ひろ美	千曲市立治田小学校

お世話になりました。ありがとうございました。